

被災地クラブの活動状況と復興へ向けて(岩手県:前編)

～岩手県沿岸市町村にある総合型クラブのこの 1 年～

岩手県クラブ育成アドバイザー 伊藤啓太

昨年の 3.11 の東日本大震災より、1 年が経過しました。岩手県内でも大きな被害を受け、特に沿岸部では津波による甚大な被害があり、いまなお不自由な生活を強いられている方々が多くいらっしゃいます。

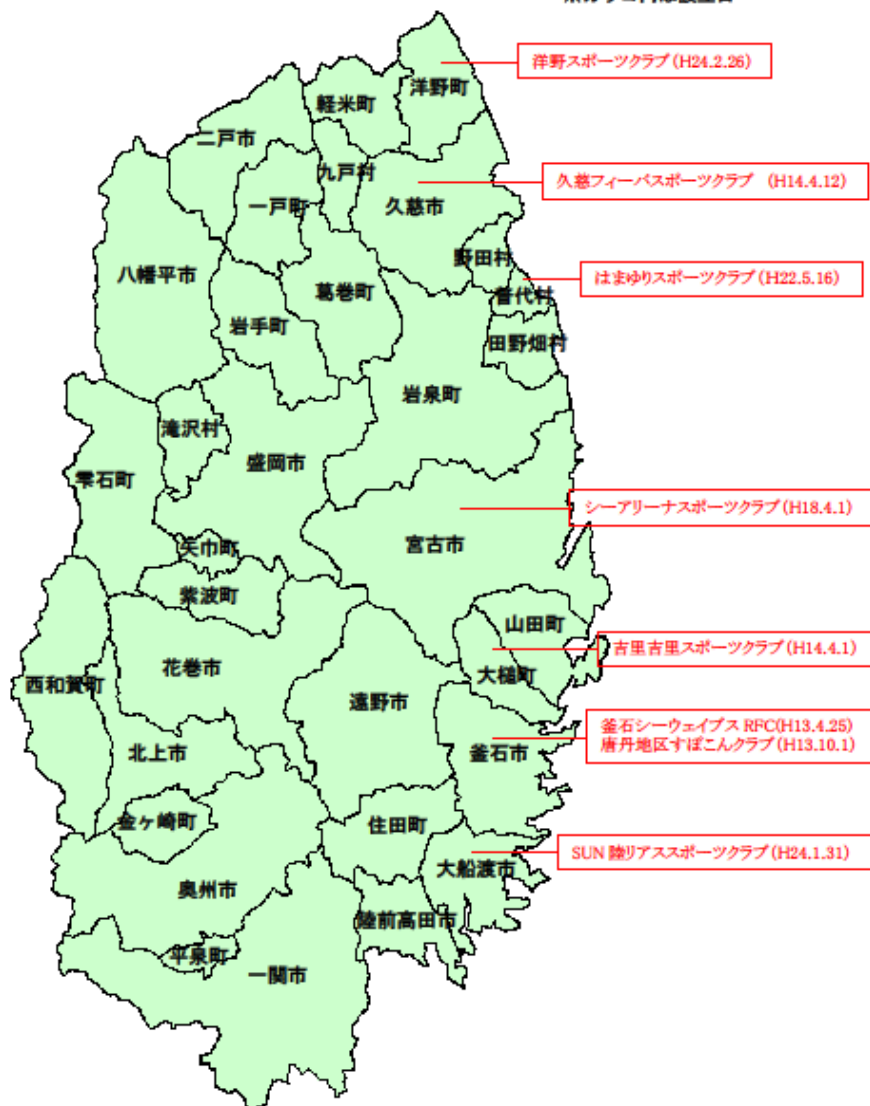
そのような中、岩手県の沿岸市町村にある総合型クラブが、この 1 年間どのような活動をしてきたのか報告させていただきます。

なお、岩手県内には 52 の総合型クラブ（平成 24 年 4 月 2 日現在）があり、そのうち沿岸市町村には 8 つのクラブがあります。

岩手県 総合型地域スポーツクラブ地図

総合型地域スポーツクラブ数 52 クラブ（平成 24 年 4 月 2 日現在）

※カッコ内は設立日



① 久慈フィーバススポーツクラブ（久慈市）

震災による被害は比較的少なく、比較的早い時期から活動を再開しました。クラブ内にサッカーとバレーボールのチームがあり、昨年度は色々な地域から声を掛けられることがあり、出来るだけそこに参加することで、地域の復興に向けた活動をアピールしてきました。また、クラブで『がんばろ！岩手』のメッセージ入りのＴシャツを作って、会員や関係者に販売し、売り上げの一部を久慈市等に寄付しました。

② はまゆりスポーツクラブ（普代村）

漁業施設等は甚大な被害を受けましたが、クラブが活動している体育施設には被害がなく、平成 23 年度当初から活動を展開しました。はじめは「スポーツを楽しんでいいんだろうか…」との声の一部の会員から聞こえていましたが、徐々に活動に参加するようになり、会員数も前年度（平成 22 年度）を上回るほどになりました。また、今年の 4 月 1 日には三陸鉄道北リアス線の運行再開イベントにクラブのキッズチアリーダーが参加してイベントを盛り上げました。

③ シーアリーナススポーツクラブ（宮古市）

震災直後はクラブの活動拠点である宮古市総合体育館は、復旧支援活動の警察官等の待機所、市民の避難所となり、クラブ活動が行える状況ではありませんでした。そのような中、避難所を回ってエコノミークラス症候群の予防などの指導を可能な範囲で行っていましたが、多くの市民が精神的なダメージを受けて気が滅入っており、何も出来ないまま帰ってくる事も多く、まだスポーツや運動を出来る状態にないということを強く感じました。

しかしながら、平成 23 年 6 月頃から会員が公民館等を借りて自主的な活動を始め、8 月からは体育館の避難所解除に伴い、段階的にクラブ活動を行えるようになり、10 月からは通常通りの活動を再開しました。市内の他のスポーツ施設も震災の影響を受けていることから、当クラブへの新規登録者もあり、会員数はほぼ例年通りとなってきました。

④ 吉里吉里スポーツクラブ（大槌町）

クラブのある吉里吉里地区の半分以上が津波により流出し、多くの住民が犠牲となりました。

クラブの活動については、平成 19 年度までは順調に活動していましたが、指導者の減少や会員数の減少により活動が停滞しているところで今回の震災に遭い、今後の見通しはまったく目途が立っていません。

子どもたちのために、地域のために、何かしたいと考えてはいますが、現実問題として大人は仕事を見つけなければ収入を得られないので、スポーツを楽しむ余裕もありません。気持ちはあっても、どうにもならないというのが現状です。

⑤ 釜石シーウェイブス RFC（釜石市）

クラブに直接的な人的被害はなかったのですが、平成 23 年 5 月 3 日までは活動を停止し、トップチームの各選手が自主的にボランティア等に参加していました。活動再開以降は、県外チームを招いての復興祈願試合の開催や新日鉄ラグビー部時代の OB が中心となって支援の呼びかけを行いました。

また、釜石市内にはスポーツを出来る場所がほとんど残っておらず、これまで専属で使用していたグラウンドを震災後は他団体と共用で利用しています。

⑥ 唐丹地区すぽこんクラブ（釜石市）

平成 23 年 3 月 20 日頃より地域の避難所を回って運動指導を開始し、5 月初旬からは市健康推進課と一緒に避難所を回って指導を始めました。クラブの活動については、6 月頃より徐々に再開しましたが、地域に活動する場所がなく、地域外に移動して行っており、その負担が大きくなっています。また、津波で流出した野球、グラウンドゴルフ用の町民グラウンドを各種団体と協力して泥などを取り除き、自分たちの手で復旧させたり、小・中学校と合同の町民運動会を開催したり、出来ることから取り組んでいます。

⑦ 洋野スポーツクラブ [HOT CLUB]（洋野町） H24.2.26 設立

平成 23 年 7 月から創設に向けた準備を開始し、今年 2 月に「スポーツは地域のために！」という基本理念の基にクラブを立ち上げ、町民の健康維持と地域活性化を目指しています。

⑧ SUN 陸リアススポーツクラブ（大船渡市） H24.1.31 設立

大船渡市内で津波の被害を受けなかったスポーツ施設は、綾里地区にある三陸 B&G 海洋センターしかなく、そこを拠点に仮設住宅生活者を対象とした軽い運動教室“おしゃべりエクササイズ”を、平成 23 年 9 月から始めていました。毎週の活動を楽しみにしている参加者も多く、この活動をきっかけに地域のスポーツ愛好者を中心に総合型クラブの設立の検討を始め、スポーツによる被災者の健康維持や地域住民の交流を目指して、今年 1 月に総合型クラブを設立しました。

（次号のメルマガ 6 月号では後編をお届けします）

関連リンク：伊藤啓太氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/462/Default.aspx>